

分担見直し業務継続

川崎陸送■QC代表発表会

赤穂営業所賞 急な欠員にも対応
優秀賞

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は6月25日、

QCサークル(小集団改善活動)の代表発表会を開いた。予選を勝ち抜いた10チームが、現場での事故防止や効率化につながる改善事例を発表。1位の優秀賞には、業務分担を見直すことで、急ぎよ欠員が出ても業務を継続できる体制を整えた赤穂営業所(兵庫県赤穂市)の「ひよこ物流」が輝いた。

会場とリモートの併用で開催した。2位の優良賞は坂戸流通センター(埼玉県坂戸市)の「チームきのたけ」が、3位の努力賞には

通関東京営業所(東京都江戸川区)の「湾岸クラブ」が選出。入賞者には、それぞれ樋口社長から賞状が贈られた。

ひよこ物流のメンバーが所属する赤穂営業所は、薬品の保管・出庫・納品やリサイクル容器の回収といった業務を行う。今回、配車業務などを担う5人の作業分担を見直し、新型コロナウイルスに同時に2人が感染しても乗り切れる体制を構築。在宅勤務を促す環境整備にもつながった。

発表では、急ぎよ欠員が出て他の営業所からの応援を頼んだ場合のコストがなくなることや、平時の時間外労働時間の削減も図れるといった効果を説明。審査員長の樋口由人取締役は「チームがタイムリーで、活動にもスピード感があった」と講評した。

チームきのたけは、流通加工業務について、新人の理解向上に向けた指導方法の改善事例を報告。湾岸クラブは、入庫業務の入力ミスをなくするためのマニュアルやチェック方法の見直しといった取り組み結果を説明した。(土屋太朗)